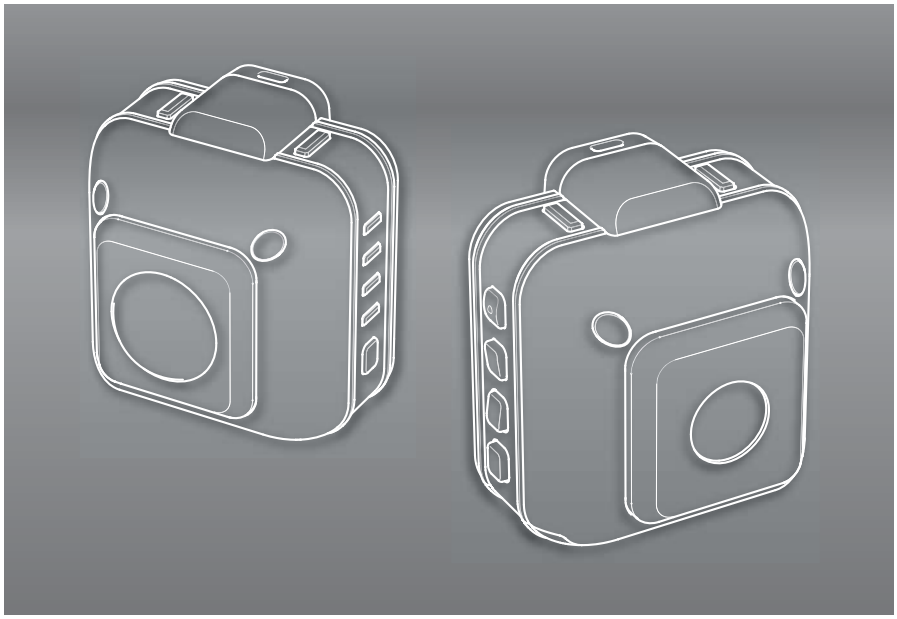
ELMO

QBiC X1 / D1

スタートアップガイド	page 5 -
安全上の注意	page17-



©2012 Copyright ELMO Co., Ltd. All rights reserved.
本書に記載されている商品名は、それぞれの保有者の商標または登録商標です。

MEMO

MEMO

<<QBiC スタートアップガイド & 安全上の注意>>

目次

スタートアップガイド

箱の中身を確認する....6
各部の総称....6
準備する....7
　充電方法....7
　microSD カードと WiFi カードをセットする....8
　電源を入れる/電源を切る....9
　水中でご使用になる際の注意点....9
撮影する....10
　動画を撮影する....10
　静止画を撮影する....11
　インターバル撮影する....11
ライブビュー....11
　QBiC アプリケーションのインストール....12
　「QBiC 設定ツール」を PC にインストールする....12
　アドホック通信で接続する....12
　インフラストラクチャー通信で接続する-確認してください....13
　インフラストラクチャー通信で接続する-本機の設定....14
　インフラストラクチャー通信で接続する-モニターの設定....15
マスストレージモード....15
　マスストレージモードの起動方法....15
その他の機能....16
　リモートコントロール....16
　GPS 機能....16
アップデートについて....16

安全上のご注意

安全にご使用いただくために一必ずお守りください....18
使用上のご注意....23
あらかじめご了承ください....26

QBiC X1 / D1
スタートアップガイド

はじめに

このたびはQBiC X1/D1をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本ガイドは、本機を正しく使用するために必要な設定・使い方を説明しています。

ご使用前に必ず本ガイドおよび「安全上のご注意」をお読みください。

本ガイドに記載されていない設定やご使用方法については、

「QBiC ユーザーズ・マニュアル」をご参照ください。

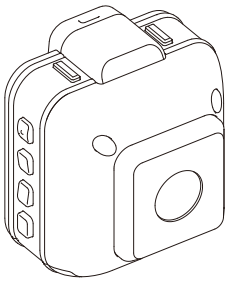
本紙はいつでも使用できるように大切に保管してください。

《QBiC ユーザーズ・マニュアル》
「QBiC ユーザーズ・マニュアル」は
QBiC オフィシャルウェブサイト上でご覧ください。
QBiC オフィシャルウェブサイト:
http://www.elmoqbic.com/

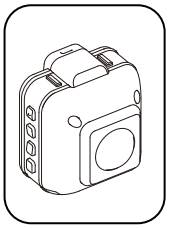
箱の中身を確認する

☐ 本機　(QBiC X1/D1)

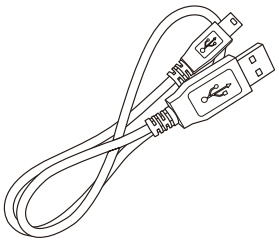
X1



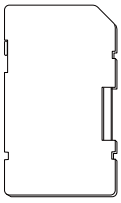
D1



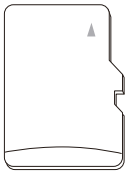
☐ USB ケーブル



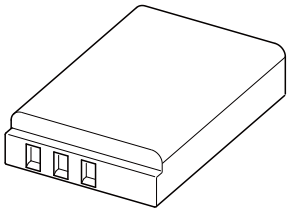
☐ WiFi カード



☐ microSD カード (2GB)



☐ バッテリーパック



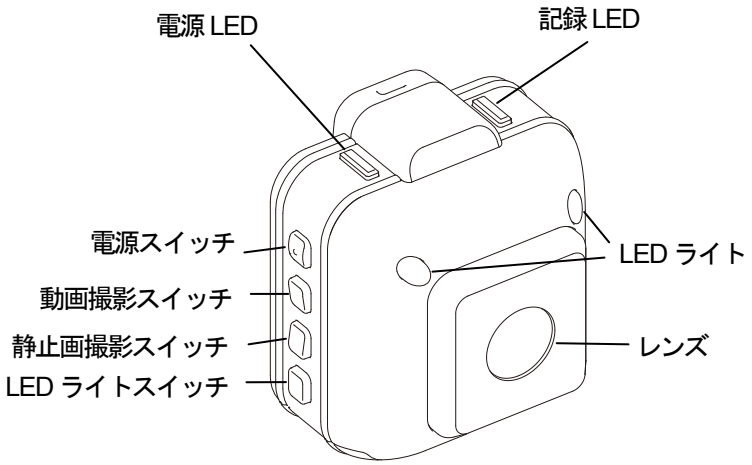
☐ スタートアップガイド & 安全上のご注意 (本紙)　　☐ 保証書

出荷に際し、品質や梱包などには万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気づきの点がありましたら、直ちに弊社までご連絡くださいますようお願いいたします。

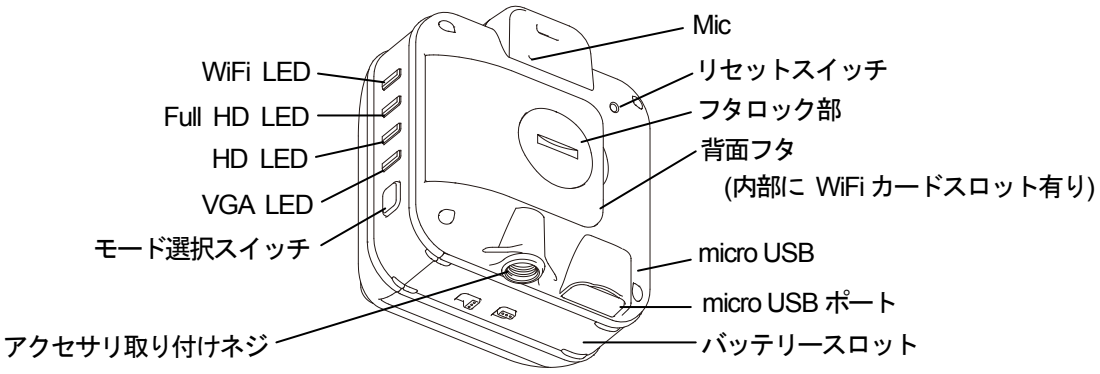
各部の総称

前面

*D1 も X1 と同じです。



背面

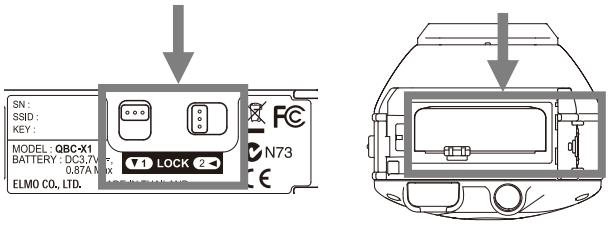


準備する

充電方法

＊お買い上げ時にバッテリーパックは挿入されておりません。
また、お買い上げ時はバッテリーが十分に充電されておりませんので、必ず充電してからお使いください。

1. 本機の底面に製品型式などが記載されたラベルが貼付されています。ラベルに記載された矢印の方向と反対に 2 つのツマミを動かし、スライドしてスロットを開きます。バッテリーパックを挿入し、スロットを逆方向にスライドして閉じます。ツマミを元の方向に戻してロックします。



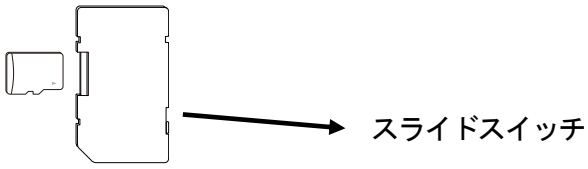
2. 本機の電源を切ります。電源が入っていると充電できません。必ず切ってください。
3. 本機の micro USB ポートのフタを開け、付属品の USB ケーブルの USB コネクタ(小さい方のコネクタ)を挿入します。
4. USB ケーブルの USB コネクタを、電源が入っている PC の USB ポートに挿入すると充電を開始します。充電中は「電源 LED」が赤色に点滅します。
5. 「電源 LED」が赤色に点灯したら充電完了です。

AC アダプタ(別売)について

AC アダプタを使用すると PC と接続して使用するよりも早い時間で充電ができます。
AC アダプタを使用した充電をおすすめします。

microSD カードと WiFi カードをセットする

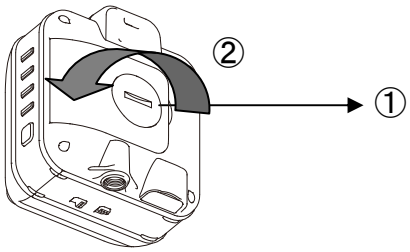
1. 付属の microSD カードを WiFi カードに挿入します。



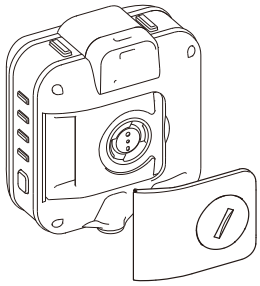
* WiFi カードを書き込み禁止にすると記録できません。スライドスイッチが「▸LOCK」の反対方向にスライドされていることを確認してください。ロックされている場合はスライドさせて書き込み禁止を解除してください。

** microSD カードを挿入する際、向きにご注意ください。また、microSD カードはカチッと音がするまで差し込んでください。正しく挿入されていない場合、エラーになります。

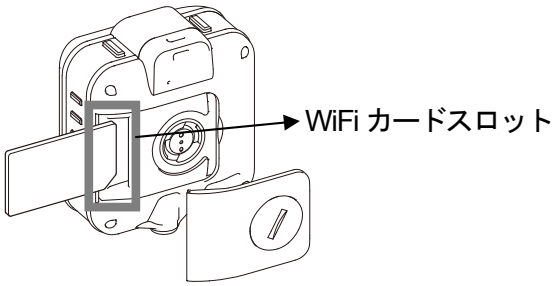
2. 先端部分が平面のもの(例:コイン)を使用して、本機背面にあるフタのロックを外します。
①の部分にコインなどを差し込み、矢印の方向(②)に回します。



フタが外れます。

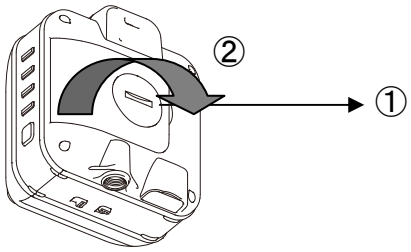


3. WiFi カードスロットに WiFi カードを挿入します。



* 挿入する際、向きにご注意ください。また、WiFi カードはカチッと音がするまで挿入してください。正しく挿入されていない場合、エラーが発生したり、本機が故障する原因になります。

4. 背面のフタを戻して、ロックします。フタをはめ、コインなどを①の部分に差し込み、矢印の方向(②)に回します。



* フタは必ず正しくはめ、①の部分をかたく閉めてください。不十分な場合、防水性が損なわれ、本機が故障する原因となります。

電源を入れる/電源を切る

電源を入れる

- 「電源スイッチ」を 1 秒以上押すと電源が入り、電源 LED が青色または緑色に点灯します。

* GPS 信号を捕捉しているときは青色に、捕捉していないときは緑色に点灯します。

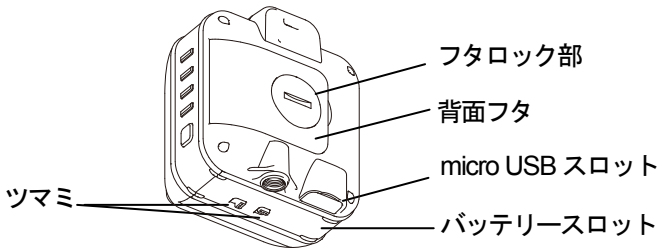
電源を切る

- 「電源スイッチ」を 2 秒以上押すと電源が切れます。電源 LED が消灯します。

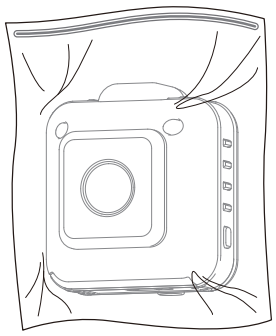
水中でご使用になる際の注意点

本機を水中で使用する場合、以下の点を必ずお守りください。

1. 各部のフタ、スロット、ツマミがしっかりと閉まっているか確認してください。



2. 水中での使用を確実にするために、市販のチャック付きポリ袋、またはデジタルカメラ用防水ケースに入れてください。
使用する際、袋のチャック、ケースの入れ口はしっかりと閉めてください。



* チャック付きポリ袋を使用する場合は、ボディマウントベルト(別売)を使用し、固定して使用することをおすすめします。

* すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

水中でのお取扱いに関する詳しい情報は、QBiC ユーザーズ・マニュアルをご確認ください。
QBiC ユーザーズ・マニュアルは下記ウェブサイトよりダウンロードしてください。
QBiC オフィシャルウェブサイト: http://www.elmoqbic.com/

撮影する

「動画撮影」「静止画撮影」「インターバル撮影」の 3 つの撮影方法があります。
撮影した動画や静止画は microSD カードに保存されます。

動画を撮影する

- 本機の「動画撮影スイッチ」を押すとビープ音が 1 回鳴り、録画を開始します。録画中は「記録 LED」が赤色に点灯します。
  録画中に再度「動画撮影スイッチ」を押すとビープ音が 2 回鳴り、撮影を終了します。

「記録 LED」が消灯します。

静止画を撮影する

- 「静止画撮影スイッチ」を押すとビープ音が 1 回鳴り、静止画を 1 枚撮影します。
  記録中は「記録 LED」が赤色に点灯します。

インターバル撮影する

- モニターまたは QBiC 設定ツールでの設定が必要です。詳しくは「QBiC ユーザーズ・マニュアル」をお読みください。

動画/静止画のファイル形式

本機で撮影した動画/静止画は以下のファイル形式で保存されます。

動画/静止画	ファイル形式
動画	ファイル形式：H.264　(H.264/48kHz L-PCM) ファイル拡張子: .mp4
静止画	ファイル形式：JPEG ファイル拡張子: .jpg

*　動画、静止画とも画質モードは工場出荷時 HD (1280x720) 30fps で設定されています。

ライブビュー

本機とスマートフォンやタブレットを WiFi 経由で接続し、撮影中の映像をリアルタイムで視聴することができます。スマートフォンやタブレットを QBiC のモニターとして使用します。

接続方法は、アドホック通信とインフラストラクチャー通信の 2 種類があります。ただし、機器によっては上記の通信方法に対応していないことがありますので、必ず接続する相手側の機器を確認してから設定してください。
なお、インフラストラクチャー通信で接続するには別途**「無線 LAN アクセスポイント」**が必要です。

モニターとして使用できるスマートフォンやタブレットの OS およびバージョンは以下の通りです。

[iOS (iPhone / iPad / iPod touch)] : 5.1
[Android OS] : 4.0
本ガイドでは、本機と接続可能な機器を以下「モニター」と称します。

QBiC アプリケーションのインストール

iOS、Android ともに、はじめに QBiC 専用アプリケーションをインストールする必要があります。

<iOS の場合> App Store から**「QBiC Air」**アプリをダウンロードします。

<Android の場合> Google Play から**「QBiC Air」**アプリをダウンロードします。

それぞれのダウンロード方法につきましてはQBiC オフィシャルウェブサイトをご覧ください。
QBiC オフィシャルウェブサイト: **http://www.elmoqbic.com/**

「QBiC 設定ツール」を PC にインストールする

初めて本機とモニターをインフラストラクチャー通信で接続する場合、あらかじめ PC に専用の設定用ツール**「QBiC 設定ツール」**をインストールしておき、本機と PC を USB ケーブルで接続して、ツールより必要な設定を本機に設定する必要があります。2 回目以降はツールを使用することなく接続することができます。

「QBiC 設定ツール」は QBiC オフィシャルウェブサイトよりダウンロードしてください。
QBiC オフィシャルウェブサイト: **http://www.elmoqbic.com/**
QBiC 設定ツールをインストールできる PC の対応 OS バージョンは以下の通りです。

[Windows] : Windows XP / Windows Vista / Windows 7
[Mac] : OSX 10.6 /10.7

* アドホック通信接続の場合は QBiC 設定ツールを使用する必要はありません。

アドホック通信で接続する

iPhone、iPad、iPod touch (iOS)を使用する場合の接続方法を以下に説明します。
Android 端末をご使用になる場合は端末がアドホック通信に対応しているかご確認くださ

い。詳しい設定方法は Android 端末の取扱説明書をご確認ください。

1. 本機の底面部に製品型式などが記載されたシールが貼付されています。**「SSID」**と**「KEY (暗号キー)」**が記載されているのを確認してください。
2. 本機の電源をオンにします。
3. 本機のモード選択スイッチを 4 秒以上長押しします。
4. ビープ音が 3 回鳴り、本機の WiFi LED が青色に点滅します。アドホック通信モードに切り替わります。
5. モニターのホーム画面から**「設定」**→**「WiFi」**とタップします。
6. 右側の「WiFi」を**「オン」**にスライドします。
7. 右側の「WiFi ネットワーク」に 1.で確認したシールに記載されている**「SSID」**と同じ英数字が検出されます。その英数字をタップします。
8. パスワード入力画面が表示されます。
   1. で確認したシールに記載されている**「KEY」**と同じ英数字を入力します。
9. **「接続」**ボタンをタップします。
10. 左側に✓マークがつき、選択されます。本機の WiFi LED が青色に点灯します。
11. 右矢印 をタップします。
12. 通信設定画面が表示されます。
13. IP アドレスとサブネットマスクを設定する画面が表示されます。**「静的」**タブをタップします。
14. 下記の IP アドレスとサブネットマスクを入力してください。

IP アドレス	192.168.111.XXX*
サブネットマスク	255.255.255.0

＊1 から 254 までの任意の数字。
ただし、10 は除きます。

15. WiFi 設定をクローズし、ホーム画面に戻ります。
16. モニターのホーム画面より**「QBiC Air」**アプリを起動します。
17. 本機の映像が表示され、ライブビューが開始します。
18. アプリ上で通信エラーメッセージが表示された場合、本機とモニターの設定を再度確認し、本機およびモニターを再起動してからアプリを再起動してください。

*通信距離はご使用の環境によって変わります。うまく通信できないときは本機とモニターの距離を近づける、または障害物がない環境で再度実行してみてください。

インフラストラクチャー通信で接続する-確認してください

注意 1.　インフラストラクチャー通信で接続するには別途「無線 LAN アクセスポイント」が必要です。あらかじめ無線 LAN アクセスポイントをご用意いただき、ルータ等無線 LAN アクセスポイントとなる機器の取扱説明書をご用意してから先にお進みください。

注意 2. **本紙では、無線 LAN アクセスポイントを有するルータ等が「DHCP サーバ機能」に対応している場合の接続方法についてご説明します。**
「DHCP サーバ機能」に対応していないルータ等を使用して本機と接続する場合は、「QBiC ユーザーズ・マニュアル」をご確認ください。

インフラストラクチャー通信で接続する-本機の設定

本機側に必要な設定を行います。QBiC 設定ツールがインストールされた PC および付属の USB ケーブルが必要です。
また、無線 LAN アクセスポイントとなる接続側の機器の SSID と暗号キーをあらかじめご確認ください。

1. 本機の micro USB のフタを開きます。
2. PC と本機を付属の USB ケーブルで接続します。(USB コネクタの向きにご注意ください。)
3. 本機の電源を入れます。
4. PC にダウンロードした**「QBiC 設定ツール」**を起動します。
5. ツール内の**「ネットワーク」**アイコンをクリックします。
6. **「インフラストラクチャー」**タブをクリックします。
7. **「起動時にインフラストラクチャーで接続する」**をチェックします。
8. **「AP 検索設定」**ボタンをクリックします。
9. PC 周辺の無線 LAN アクセスポイントの一覧が表示されます。
10. 本機と接続する無線 LAN アクセスポイントを選択し、ダブルクリックします。
11. 暗号キーを入力するウィンドウが表示されます。無線 LAN アクセスポイントの暗号キーを入力してください。**「中身を表示する」**にチェックを入れると入力中の暗号キーを表示することができます。
    入力が完了しましたら、**「OK」**ボタンをクリックしてデータが本機にダウンロードされます。
    ダウンロードが完了すると、ウィンドウが閉じます。
12. **「現在選択中の AP」**欄に、先ほど選択した無線 LAN アクセスポイントが表示され、左側にチェックがついていることを確認します。
13. QBiC 設定ツールを閉じます。USB ケーブルを本体から抜き、本機底面にある micro USB フタを取り付けます。

* micro USB フタは必ず奥まで挿入してください。不十分な場合、防水性が損なわれ、本機が故障する原因となります。

14. 本機を再起動します。

インフラストラクチャー通信で接続する-モニターの設定

iPhone、iPad、iPod touch (iOS)を使用する場合の接続方法を以下に説明します(以下、モニターと称します)。
Android 端末をご使用になる場合は端末がインフラストラクチャー通信に対応しているかご確認ください。詳しい設定方法は Android 端末の取扱説明書をご確認ください。

1. モニターの電源をオンにします。
2. モニターのホーム画面より**「設定」**→**「WiFi」**をタップします。
3. 「ネットワークを選択」リストより、本機と接続する無線 LAN アクセスポイントをタップして選択します。
4. パスワード入力ウィンドウが表示されます。無線 LAN アクセスポイントの暗号キーを入力します。「接続」ボタンを押して接続します。
5. ✓マークがつき、選択されます。本機の WiFi LED が緑色に点灯します。
6. 右矢印 をタップします。
7. 通信設定画面が表示されます。
8. IP アドレスとサブネットマスクを設定する画面が表示されます。**「DHCP」**タブが選択されているのを確認します。
9. ホーム画面に戻り、「**QBiC Air**」アプリをタップして起動します。
10. 本機の映像が表示され、ライブビューが開始します。11. アプリ上で通信エラーメッセージが表示された場合、本機とモニターの設定を再度確認し、本機およびモニターを再起動してからアプリを再起動してください。

マスストレージモード

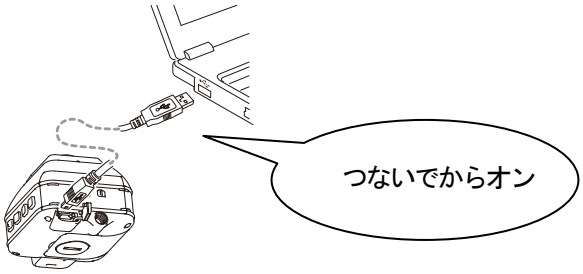
本機をストレージデバイスとして使用します。本機に挿入されている microSD カードのデータを取り込みます。

マスストレージモードの起動方法

1. 本機の micro USB のフタを開きます。
2. 本機の電源を切った状態で、PC と本機を付属の USB ケーブルで接続します。
   (USB コネクタの向きにご注意ください。)
3. 本機の電源ボタンを 5 秒以上押し続けます。
4. 本機内部の microSD カードがリムーバブルディスクとして認識されます。ビープ音が 3 回鳴り、PC にメニュー画面が表示されます。

5. 実行したいメニューを選択して操作します。
6. 操作完了後、本機の電源をオフにした状態で、USB ケーブルを本体から抜き、本機底面にある micro USB フタを取り付けます。

* micro USB フタは必ず奥まで挿入してください。不十分な場合、防水性が損なわれ、本機が故障する原因となります。



その他の機能

本機のその他の機能については「QBiC ユーザーズ・マニュアル」をご覧ください。

リモートコントロール

iOS 端末や Android 端末を使用して録画・撮影の操作を行うことができます。また本機の各種設定も行うことができます。

GPS 機能

カメラ電源が入っている間、位置情報のログが別ファイルに記録されます。
また、静止画を撮影すると Exif タグに GPS 情報が記録されます。

アップデートについて

本機および QBiC アプリの操作性、性能の向上を目的としたアップデートを実施することがあります。詳細は QBiC オフィシャルウェブサイトよりご確認ください。

QBiC オフィシャル ウェブサイト:**http://www.elmoqbic.com/**

QBiC X1 / D1

安全上のご注意

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

万一の際に備え、本書は大切に保存してください。

QBiC ユーザーズ・マニュアルを下記よりダウンロードいただき、

正しく安全にお使い頂く為にこちらも併せてよくお読みください。

QBiC ウェブサイト: http://www.elmoqbic.com/

安全にご使用いただくために―必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。ご使用前に必ずお読みください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **危　険**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警　告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注　意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	名称: **危険 / 警告 / 注意** 意味: 危険な行為や、警告・注意が必要な行為を示します。
	名称: **禁止** 意味: 禁止(してはいけないこと)を示します。
	名称: **強制** 意味: 強制(必ず実行、お守りいただくこと)を示します。
	名称: **接触禁止** 意味: 接触禁止(してはいけないこと)を示します。 感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。
	名称: **分解禁止** 意味: 分解禁止(してはいけないこと)を示します。 感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。

⚠ 危　険
自動車、オートバイ、自転車など乗り物の運転をしながら本機の操作をしたり、モニターの表示画面を見たりすることは絶対におやめください。本機及びモニターの操作は、必ず乗り物が停止した状態で行ってください。 ●衝突、転倒などの発生、けがまたは死亡、事故の原因となります。事故を防ぐため、法令に従い、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。
ストラップでぶら下げるなど本機を不安定な状態で、自動車、オートバイ、自転車など乗り物の運転をしないでください。 ●何かにひっかかり、運転ミスによる衝突、転倒などの事故の発生、けがまたは死亡の原因となります。本機が飛ばされると、近くの人や物に当たり、けがまたは死亡、物の損傷の原因となります。
本機を自動車、オートバイ、自転車などの外部に取り付けて使用しないでください。 ●自動車、オートバイ、自転車などの外部に指定されたもの以外を取り付けることは法律で禁止されている場合があります。また法令に従い取り付ける場合であっても、頑丈に取り付けを行い、走行中に外れないように適切な処置をしてください。
本機で使用するバッテリーは充電式リチウムイオン電池です。温度や湿度の影響を受けやすいのでご注意ください。 バッテリーは本機の専用品ですので他の機器には使用しないでください。 ●強い衝撃が加わり、変形したバッテリーは危険ですので絶対に使用しないでください。発煙、発火、感電、やけどの原因になります。 ●バッテリーの充電は専用の器具を使い、必ず指定された方法で行ってください。 ●不要になったバッテリーは捨てないでご使用の地域で定められた方法でリサイクルまたは廃棄してください。
本機を体に装着して使用する場合は事故を防ぐため、周囲の交通や状況に十分に注意してご使用ください。 ●衝突、転倒などで本機が体に衝撃を与え、けがをする原因となります。
液漏れしたバッテリーは使わないでください。 また液が目に入ったときはきれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。 バッテリーは次のような誤った使い方をしないでください。 液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがまたは死亡、火災の原因になります。 ●金属物と一緒に携帯、保管する。 ●分解、加工、加熱および水中、火中に入れる。 ●高温になる場所に置く。 ●落としたり、強い衝撃を与えたりする。 ●プラス(+)とマイナス(-)のまちがい。
本機を暖房機器等の熱を発するものに近づけないでください。また火の中に投げ入れたり加熱したりしないでください。

●バッテリーが発火、破裂し、けがまたは死亡、火災の原因となります。

可燃性、爆発性、引火性のガスなどがある場所で使用しないでください。
●火災や爆発の原因になります。

⚠ 警　告

本機のネジを外したり、ケースをこじ開けたりしないでください。
●内部には電圧の高い部分があり、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
●内部の点検・修理は、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでご依頼ください。

本機や付属品などを乳幼児の手の届くところに置かないでください。
●ケーブルは誤って首に巻きつけて、窒息に至る恐れがあります。
●WiFiカードおよびmicroSDカードは誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
●本機を足に落としたり、踏みつけたり、下敷きにしたりしてけがをする恐れがあります。

煙が出ていたり、変なにおいや音などがするときは、すぐに本体の電源スイッチをOFFにするか、注意してバッテリーを取り外し、すべてのケーブルを抜き、周囲に可燃物がない状態にして、すこし離れた場所で、煙などが出なくなるまでお待ちください。
●異常状態のまま使用すると、発火、発煙、感電、やけどの原因となります。
●煙などが出なくなるのを確認してから、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまで修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。

本機を落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を加えないでください。本機の上に重たいものを乗せたりして、圧力をかけないでください。
●発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
●本機に衝撃を加えたり、変形が生じたりしますと防水性の保証は致しかねます。

内部に水や異物を入れたり、端子部(USBおよびカードスロット)に直接、配線やピンなどをはんだ付けしたり、異物を差し込んだりしないでください。端子部に規格外のプラグやコネクタなどを差し込んだりしないでください。各端子の接続は根本まで確実に差し込んでご使用ください。
また、濡れた手で触らないでください。
●発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。

本機は防水ではありますが、すべての状態で防水性を保証するものではありません。雨天、降雪、海岸、水辺及び水中でのご使用は十分にご注意ください。
ご使用中に本機に異常が発生した場合はただちに電源スイッチをOFFにするか、注意してバッテリーを取り外してください。その後、ご購入先またはエルモ社カスタマー

サービスまでご連絡ください。 ●火災・感電の原因となります。
 万一、本機の内部に水や異物などが入った場合は、電源をOFFにするか、注意してバッテリーを取り外し、すべてのケーブルを抜いてください。 ●その後、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでご連絡ください。そのまま使用すると発煙、発火、感電、故障の原因となります。
 雷が鳴り出したら本機およびケーブルが接続されている機器には触れないでください。 ●感電の原因となります。
 自動車内の落ちやすい箇所に置かないでください。 ●急ブレーキなどで本体が落下してブレーキ操作の妨げにならないように十分ご注意ください。
 撮影時は周囲の状況に注意を払ってください。 ●周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。
 ストラップを持って、本機を振り回したりしないでください。 ●人や物に当たり、けが、故障、物損の原因となります。
 WiFi カードは本機の専用品ですので他の機器には使用しないでください。 ●折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えないでください。
 USB ケーブルは本機の専用品ですので他の機器には使用しないでください。 ●発煙、発火、感電、やけどの原因となることがありますので、USB ケーブルの上に重いものを乗せたり、コネクタ部を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

⚠ 注　意
 飛行機や病院内などで使うときは、航空会社や病院などの管理・監督者の指示に従ってください。 ●本機が出す電磁波などにより、機材、計器に影響を及ぼす原因になることがあります。
 長時間使用しないときや、お手入れのときは、装着品を取り外して、充電していない状態にしてください。(長時間使用しないときでも、半年に1回は充電してください。長時間充電をしないと充電できなくなることがあります。) ●通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、発煙、発火、火災の原因になることがあります。
 車内など高温になる場所、湿気やほこりの多い場所で長期間の使用や保管をしないでください。 ●火災・感電の原因となることがあります。

	●本体が変形して故障する場合があります。
	油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。 ●火災・感電の原因となることがあります。 ●防水性が低下することがあります。
	ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。必ずコネクタ部分を持って抜いてください。 また持ち運ぶときは、必ずケーブルを外してください。 ●ケーブルが損傷すると、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
	本機からケーブル、ストラップや三脚など装着具を取り外すときは、本機に手をそえて行ってください。 ●本機がとび出して、落下すると故障やけがの原因になることがあります。
	白色LEDライトを至近距離で直接見たり、光を人の目に近づけたりしないでください。 ●視力障害などの原因になることがあります。乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。 ●乗り物などの運転者にLEDライトを向けないでください。事故を誘発する原因になります。
	本機のレンズを直接太陽に向けないでください。 ●発煙、発火、やけど、故障の原因となることがあります。
	本機を長時間素手で持たないでください。とくに皮膚が過敏な方は、ご注意ください。 本機との接触により、皮膚に炎症が発生した場合、すぐに医師にご相談ください。 ●本機は熱くなることがあります。長時間素手で持っていると、低温やけどの原因になります。 ●まれに本機の樹脂や金属の材料、材質により、皮膚に炎症を起こす原因となることがあります。

使用上のご注意

■本機はアウトドアでの使用を想定しておりますが、スペックを超える過度な条件下での使用やお客様の誤ったお取り扱いにより発生する本機の故障やその他の事象については、当社は一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。またこのような場合、保証期間内でも無償の修理サービスを受けることができません。

■事前に必ずためし撮りをしてください。
大切な撮影には事前にためし撮りをして、正常に映像や音声が記録されていることをご確認ください。本機以外の不具合により撮影できなかった場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■使用上の環境条件は次のとおりです。
温度 ： 0℃ ～ 40℃
湿度 ： 10% ～ 80%

■GPSについて
●GPSは衛星から電波を受信し位置を測定するシステムです。次のような場所では衛星からの電波を遮断または反射してしまい、位置が正しく検出できない恐れがあります。できるだけ上空の開いた場所でご使用ください。
-屋内、地下、森や林の中、高い建物や建造物の近く、トンネル内
-高圧電線の近く、磁石や金属、電気製品の近く
-GPS機能はご使用になる国や地域の規則に従ってください。

■WiFi(無線LAN)の電波について
●本機は2.4GHz帯の電波法令による適合証明を受けております（適合証明受けた部品を使用しております。）ご購入の国以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。
●通信状況が悪い場合、設置場所を変更してください。遮蔽物が多い場所など、ご使用環境によっては、通信に悪影響を及ぼす場合があります。とくに次の条件下では通信ができません。
-本機が水中にある場合
-送受信(本機とモニター)の間に鉄筋や金属およびコンクリートがある場合
●次の条件下では本機を使用しないでください。
-ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近く
-工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内(免許を要する無線局)の近く
-特定小電力無線局(免許を要しない無線局)の近く
●Bluetooth機器との電波障害について
Bluetooth機器と本機は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、お互いを近くで

使用すると電波障害が発生し、通信速度の低下や接続に障害が発生する可能性があります。
接続に問題がある場合は、Bluetooth機器か本機の電源を切って下さい。

■防水について

●本機は当社の定める基準において7m/10分防水を保証しております。しかしながら、すべての条件において防水性能を保証するものではありません。
●お客様の誤った取り扱いが原因の故障は保障対象外となります。
●本機をぶつけたり、落としたりなどの衝撃を加えた場合、防水性能は保障いたしません。 修理（有料）についてはご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでお問い合わせください。
●本機の内部およびカードやバッテリーは防水ではありません。濡れた手で取り扱わないでください。

■本機のフロント部には透明ドーム部がありますが、傷がつきやすいので、取り扱いにはご注意をお願いします。透明ドーム部に傷がつきますと、位置や大きさによっては、クリアな映像が撮影できない場合があります。交換(有料)については、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

■次のような場所には保管しないでください。

●屋外、湿気やほこりの多い場所
●直射日光のあたる場所(自動車内や窓辺)、高温となる場所
●氷点下となる場所(寒冷地で暖房のない場所)
●冷暖房器具の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
●自動車や乗り物内など振動の多い場所
●磁石または磁場の近く
●薬品などの有機溶剤を使用する場所

■寒冷地での使用について

●低温下で本機の金属部品に直接触れると皮膚に傷害が発生する恐れがありますので、低温下では手袋をはめてご使用ください。

■結露について

●結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部、とくにレンズの内側表面に空気中の水蒸気が凝結して水滴が付いたり、表面にくもりが発生したりすることです。
●結露した状態で使用すると故障の原因となります。もし本機が結露した場合、電源をOFFに

して、外側を柔らかい乾いた布で拭いてから湿気やほこりが少なく温度が安定(10～30℃が望ましい)した場所に放置し、完全に結露がなくなってからご使用ください。とくにレンズの内側表面に付いた結露が残っていると、クリアな映像になりません。

■内蔵マイクについて

●本機の操作音を拾うことがありますが、故障ではありません。

■撮影について

●解像度、動画記録品質等の条件により、録画時間の長さは異なります。

●本機を撮影禁止場所で使用しないでください。退去を命じられたり、法律により罰則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受ける原因となります。

●本機を迷惑禁止条例等の法律に違反することに使用しないでください。法律により罰則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受けたりする原因となります。

■お手入れについて

●シンナーやベンジン等の強溶剤で本機を清掃しないでください。故障の原因となります。

●本機の清掃は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

●汚れがひどいときは、端子部(USBおよびカードスロット)のカバーの装着を確認し、真水で軽く洗い、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■画面上の輝点、黒点について

●本機は、多くの画素により構成されたCMOSエリアイメージセンサを使用しており、なかには正常動作しない画素が存在する場合があります。出力画面上に輝点、黒点が見られることがありますが、CMOSエリアイメージセンサ特有の現象であり、故障ではありません。

■記録ファイルについて

●本機は精密な電子部品で構成されており、動作中にWiFiカードおよびmicroSDカードを抜いたり、電源をOFFにしたり、通信中に付属のUSB ケーブルが外れた場合、microSDカード内のファイルが破壊されたり、消滅したりすることがあります。

●記録したファイルの破壊、消滅による損害については、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■WiFiカードおよびmicroSDカードについて

●付属品以外のmicroSDカードはご使用になられる前に本機でフォーマットしてください。またフォーマットは本機以外では行わないでください。カードの種類やメーカーにより使用できない場合があります。

●microSDカードにアクセス(録画)中は、WiFiカードを抜いたりしないでください。誤動作、故障

の原因になります。

●使用後や保管、持ち運び時はケースや収納袋に入れてください。

■バッテリーの性能、寿命について

●本機に内蔵されているバッテリーは、リチウムイオン二次電池です。

●バッテリーには寿命があり、温度、使用回数、使用時間、時間の経過につれて、バッテリーの容量は少しずつ低下します。

●常温(10～30℃)で使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいバッテリーに交換が必要です。

ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでバッテリーの交換(有料)をご依頼ください。

●低温時や高温時には充電できない場合があります。

10~30℃の場所にしばらくおいてから、充電してください。

低温環境から暖かい場所へ移動する際は、結露にご注意ください。

●記録日時等は、本機のバッテリーが切れるとリセットされます。

■本機を廃棄するときのお願い

●バッテリーのリサイクルにご協力をお願いします。

ご使用の地域により製品を廃棄する際は、本機に内蔵されているリチウムイオン電池(バッテリー)を外して、リサイクルすることが可能です。その際はご使用の地域で定められた法令に従いリサイクルしてください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人ＪＲＢＣホームページ（**http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html)**をご参照ください。

■microSDカードを廃棄および譲渡するときのお願い

●本機およびPCの機能による「フォーマット」や「消去」ではmicroSDカード内のデータは完全に消去されません。

物理的に破壊するか、市販のPC用データ消去ソフトを使用してのデータ消去をおすすめします。

microSDカード内データはお客様の責任において管理してください。

あらかじめご了承ください

■本書の内容については、予告なしに変更することがあります。

最新版は下記QBiC オフィシャルウェブサイトでご確認いただけます。

http://www.elmoqbic.com/

■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。

著作権法上、当社に無断では使用できません。

■万一、本機の使用及び故障、修理、その他の理由により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本書での記載について以下のように記載しています。

- 「microSD」および「microSDHC」メモリカード→「microSD」カード
- 「バッテリーパック」→「バッテリー」

■著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像および動画フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償にかかわらず権利者に無断で、ネット上で記載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ご 注 意

●この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

●カメラシステムを使用して撮影される人物やその他の映像で、個人を特定できるものは個人情報となります。
その映像の開示、公開等の取り扱いは、システムを運用する方の責務となりますので、ご注意ください。

●書籍、写真などは個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんので、ご注意ください。

●補修用性能部品について
補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。
この部品保有期間が修理可能の期間となります。